

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	そもそも超高速ブロードバンドをすべての世帯に普及させる必要があるのか?その基盤整備に税金を投入するのであれば、医療や育児等、他にも優先すべき施策があるのではないかと便利さを求めるより、安心して生活できる環境づくりを目指して欲しい。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	現時点で30%の利用率であるということは、世の中の人たちは、政府が考えるほど超高速ブロードバンドを必要としていないのではないかと。また、利用率を上げるために事業者間に競争させて料金を下げようということだが、サービスの低下や品質の悪化につながるのではないかと。